

社会福祉法人春献美会 くろかわのぞみ保育園 31年度事業計画

- 子どもたちにとって保育園が心地よく過ごせる場として、子どもたちの笑顔と生き生きした活力に溢れる環境作りに努めます。
- 子どもの健やかな成長発達を温かく見守り、子どもの育ちを保護者と共有し、連携した支援をしていきます。
- 地域の中で安心して子育てができる拠点となるよう、一時保育事業や育児相談・園庭解放・行事へのお誘いなど子育て支援の輪を広げていきます。
- 保育の質の向上において、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めながら、自己評価を通じて課題の把握と改善を図ります

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	園児数	備考
ほし	0歳	3	9	
ひかり	1歳	3	18	
にじ	2歳	4	22	
かぜ	3歳	2	26	
つき	4歳	1	24	
そら	5歳	1	25	
一時保育担当		1		
フリー保育士		1		
合計		16	124	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 296日
25	24	25	26	26	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	25	24	24	23	25	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児（隔月1回）・1歳児（隔月1回）・2歳児以上（年3回）
歯科健診	全園児（年1回）
歯磨き指導	4歳児、5歳児
手洗い指導	3歳児・4歳児・5歳児

エ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感しあう
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく

オ 各組の保育目標

そら組（5歳児）の年間目標

生活や遊びを通し、仲間と共に一つの目標に向かい協力し活動する中で達成感や充実感を味わう

つき組（4歳児）の年間目標

友達と一緒に遊ぶことに喜びを持ち、つながりが広がり集団としての行動ができるようになる

かぜ組（3歳児）の年間目標

保育者や友達と遊び、関わりの中で自分の要求や主張を言葉や行動で表現する

にじ組（2歳児）の年間目標

衛生的で安全な環境で自己主張し、心身共に快適な生活を送る

ひかり組（1歳児）の年間目標

安心できる保育士や環境の下で自分でしようとする意欲が芽生える

ほし組（0歳児）の年間目標

子どもの生活リズムを整え、子どもに愛着を持って接し安定した生活を送ると共に基本的な生活習慣を養う

カ 主な行事予定

別途添付

キ 食事

[1] 目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項

- ・薄味に心がける。
- ・旬の素材を使った献立作りを心がける。
- ・見た目においしく、食べてもおいしい食事づくりを心がける。
- ・保護者との連携を密にする。

[2] 食育

- ・毎月一予定献立表の配布をする。
- ・給食日より一くろかわのぞみ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。
- ・食を考える一毎月の給食会議にて、献立および提供された食事についての感想や反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りの取り組みを行う。また、食育を含め食全般についての勉強会や情報交換の場とする。
- ・展示食一玄関ホールに、その日の給食の見本を展示する。

[3] 衛生管理

- ・衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。
- ・調理人の細菌検査（毎月1回、6月～9月の夏季は月2回、10月～3月の冬季はノロウイルス対策として月1回）調理室、乳児調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料、調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

[4] 離乳食に関して

- ・「離乳の基本」が改定され、個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので7か月までは、そのまま離乳食（完了食）を準備し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、医師の診断に従い除去解除ができるようにしていく。

<離乳食の進め方>

- ①食べ易い形で・・・子どもの状態にふさわしい形で与える。手づかみ食べを十分に経験させ嚙める子どもに育てる。
- ②栄養と食品のバランスを考えて・・・準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
アレルギーをおこしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理

- ・非常災害時の避難訓練（毎月）
- ・引き渡し訓練の実施（年1回）
- ・不審者侵入対応訓練（年1回）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

- ・園長 1名
- ・主任保育士 1名
- ・保育士 18名（一時保育兼務）
- ・調理師 3名（栄養士含む）
- ・看護師 1名
- ・事務員 1名
- ・嘱託医 1名（非常勤）
- ・非常勤、パート 6名（一時保育・調理員を含む）

イ 健康管理

- ・健康診断 1年 1回
- ・細菌検査 毎月

ウ 職員会議

- ・職員全体会議 毎月1回
- ・クラス会議 適宜
- ・代表者会 適宜
- ・幼児会議 毎月1回
- ・乳児会議 毎月1回
- ・給食会議 毎月1回

エ 研修計画

<別途添付>

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・川崎市勤労者福祉共済加入
- ・整体

2 施設管理

(1) 事務関係

- ・会計事務、管理事務
- ・児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

(2) 設備関係

- ・固定遊具の設備点検

(3) 備品関係

- ・備品購入予定
絵本

(4) 災害対策

ア 非常災害時の避難訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

ウ 非常食糧の備蓄

$(\text{全児童数} + \text{全職員数}) \times 3 \text{食} \times 3 \text{日分}$

3 保護者にむけて

・保育への理解と協力の促進

ア 保育参加・保育参観

- ・保育参加や保育参観は、保護者の都合に合わせて一年中受け入れている。
運動会、くろかわキッズは参加と参観に充てる。

イ 保護者懇談会

年2回、クラス毎に行う

ウ お知らせ

- ・園だより毎月1回発行
- ・保健だより毎月1回発行
- ・給食だより・献立表毎月1回発行
- ・クラスだより随時発行

4 地域社会との連携

- ・親子が気軽に「屋根のある公園」のように集える場とする。
- ・安全で子どもが安心してのびのび遊べる場となるよう、園庭開放や園行事にも積極的に参加できる場とする。

- ・地域住民が様々な形で自由に参加し、相互関係、交流を深めて子育て相談に応じるなど地域の中での子育て支援の輪を広げていく。

<園庭遊び>

- ・地域の子育て中の保護者を対象に平日（月～金）9：30～15：00に園庭開放を行い、親子の交流、保育士との交流、園児との交流を図れるようにする。その中で育児相談なども受けることができるように対応する。

<地域事業>

- ・区内の子育て支援事業「あさお子育てフェスタ」の企画、立案および実施に参加する。
- ・地域の諸団体や老人会等にも声をかけ、保育園でのボランティアも受け入れていく。

<世代間交流>

- ・地域の小学校、中学校、高等学校と連携を持ち、保育実習、ボランティア、職業体験、子育てボランティアを積極的に受け入れいく。

<情報提供収集による支援>

- ・関係機関（区役所、保健福祉センター）等からの情報を掲示板に貼り出し、子育て中の親子に情報提供する。
- ・園外（地域など）から意見を取り入れられるように民生委員会や保健福祉センターとの連携や利用者から寄せられる情報の把握をしていく。

<園内活動への参加>

- ・月1回の看護師による育児相談を実施して地域の子育て支援に繋げていく。
また、随時寄せられる育児相談（電話、来園）にも丁寧に対応し、園長・保育士・看護師・栄養士の各職種が親身になって相談に応じていく。
- ・園主催の移動動物園・夏まつり・もちつきなどでは、地域の方の参加も呼びかけて、保育園を知って頂くきっかけにもなるように努めていく。もちつきでは子どもたちや近隣の親子が木瀬部屋の力士と相撲を取ったりしてふれあい交流を図り楽しんでいる。
- ・一日中園庭開放を行い、園児や職員と気軽に交流ができ、気持ちよく迎え入れるように努めている。先走った指示や指導はせずに、楽しんで過ごして頂くような関わりに努める。